

**第3章 「健康つきがた21」  
の中間評価結果**

## 1 総括的評価

3つのライフサイクルの8領域（親子期は9領域）の目標（106項目の評価指標）について、その達成状況を評価・分析した結果は下記表のとおりです。

### 《指標の達成状況》

判定基準	指標数
A 既に目標値に達しているもしくは概ね達成し、更に改善を目指す	13
B 目標値に達していないが、策定時より改善	18
C 策定時から状況が変化していない	14
D 策定時より悪化している	23
E 策定時に指標設定なし、把握方法、対象者の変更等で評価困難	38

## 2 ライフサイクル別の評価

ライフサイクル別の評価指標の達成状況と評価、今後の課題や取り組みについてまとめました。

### （1）親子期

#### 1）親子期の指標

領域	評価指標	現状値 (H22)	目標値 (H33)	中間値 (H26)	達成率	改善 目標値	備考
こころの健康	ストレス解消法があると答えた割合の増加	今後調査	100%	93% (小学生保護者)	B	100%	
	子どものいる生活について楽しいと感じている割合の増加		100%	81% (小学生保護者) 87% (乳児保護者)	B	100%	
	ゆったりとした気持ちで子どもと関わっている割合の増加		100%	62% (小学生保護者)	D	100%	
	自分の悩みや困り事を相談できる人がいる割合の増加		100%	96% (小学生保護者) 96% (乳児保護者)	B	100%	
生きがい	交流しながら子育てできていると感じている割合の増加	今後調査	今後設定	71%	E	80%	
妊娠期	妊娠届出が12週未満である妊婦の割合の増加	92.6%	100%	100%	A	100%	
	妊婦健診受診率の現状維持	100%	100%	100%	A	100%	
	周産期死亡率の現状維持	0%	0%	0%	A		削除
	死産率の現状維持	0%	0%	0%	A		削除
	*相談できる人がいると答える妊婦の現状維持(新規追加)			100%		100%	

領域	評価指標	現状値 (H22)	目標値 (H33)	中間値 (H26)	達成率	改善 目標値	備考
栄養・食生活	家族そろって夕食を食べる割合の増加→「家族で夕食を食べる割合の増加」に変更	中高生 85.4%	90% 以上	小学生 89.0% 中高生 なし	E	小学生 90% 中高生 90%	指標の標記の変更、小学生、中高生別に設定
	朝食を毎日食べる割合の増加	中高生 86.1%	100%	小学生 96.0% 中高生 なし	E	小学生 100% 中高生 100%	小学生、中高生別に設定
歯の健康	むし歯のない3歳児の割合の増加	64.0%	80%以上	100%	A	100%	
	追加：むし歯のない5歳児の割合の増加	なし	なし	なし	E	80%	
	12歳の一人あたりのむし歯等数の減少	3.0本	2.0本以下	2.14本	B	2本以下	
	むし歯のない中高生の割合の増加	中学生 25.0% 高校生 32.1%	35% 以上	なし	E	50%	新たに小学生を新設。小中高別の指標に変更
	ほぼ毎日仕上げ磨きをしている割合の増加（3歳児）	89.3%	100%	82.4%	D	100%	
	ほぼ毎日仕上げ磨きをしている割合の増加（学童）→5歳児に	今後調査	今後設定	なし	E		5歳児の指標に変更
	1日2回以上歯磨きをしている中高生の増加	中学生 60.0% 高校生 67.9%	100%	なし	E	100%	新たに小学生を新設。小中高生別の指標に変更
	定期的に歯科検診をうけている中高生の割合の増加	中学生 40.5% 高校生 40.5%	80% 以上	なし	E	80%以上	新たに小学生を新設。小中高生別の指標に変更
身体活動	1日30分以上週3回以上外遊び(1歳6ヶ月児)をする子どもの割合の増加(3~6歳児)	なし	なし	79%	E	80%	3~6歳児と小学生の設定頻度の定義
		なし	なし			80%	
	追加：1日1時間以上週3回以上外遊びをする割合の増加(小学生)	なし	なし			80%	
	放課後、休日に身体を動かす機会がある割合の増加(週1回以上)	小学生 なし 中学生 50%	60%	小学生 65% 中学生 なし	A  E	70%  70%	

領域	評価指標	現状値 (H22)	目標値 (H33)	中間値 (H26)	達成率	改善 目標値	備考
・ 身体活動 運動	平日1日2時間以上ゲーム等(携帯PCも含む)をして過ごすことの多い子どもの割合の減少	3歳児 なし	なし	なし	E	35%	3歳児を 小学生に 変更 小学生 37% (H26)
		中高生 43.3%	35%	中高生 なし	E		
生活習慣病・がん	おやつの時間を決めて食べている3歳児の割合の増加	68.0%	80%以上	76%	B	80%以上	
	肥満傾向にある子どもの割合の減少 →「学童期以降の肥満度「標準」 の子の割合の増加」に変更	小学生 なし	小学生 なし	小学生 85%	E	90%	指標の表 現の変更 (標準の 増加)
		中高生 10.7%	中高生 8%以下	中高生 なし	E	90%	
	早寝をする子の割合の増加 (幼稚園～午後9時までに就寝 する)	幼稚園 94.0%	幼稚園 100%	幼稚園 96.0%	B	就学前 100% 小学生 100%	保育園も 含め、就学 前とする。 学童は小 学生とする
		学童期 今後	学童期 今後	小学生 37%	E		
早起きをする子の割合の増加	幼稚園 66.0%	幼稚園 80%	幼稚園 92.0%	A	就学前 100% 小学生 100%	保育園も 含め、就学 前とする。 学童は小 学生とする	
	学童期 今後	学童期 今後	小学生 98.0%	E			
眠れていると感じている中高生の割合の増加	なし	今後	なし	E	今後		
たばこ	妊婦の喫煙率の低下	4.8%	0%	7%	D	0%	
	たばこの影響について知っている子どもの割合の増加	73.0%	80%以上	49%	D	80%以上	
	未成年の喫煙率	なし	0%	なし	E	妊娠期 100% 中高生 50%以上	削除
	家庭での分煙率の上昇	妊娠期 なし 中高生 33.3%	妊娠期 なし 中高生 50%以上	妊娠期 62% 中高生 なし	E E		
アルコール	アルコール摂取による健康への影響 について理解している子の割合の増加	小学生 なし	小学生 なし	小学生 92%	E	小学生 100% 中高生 100%	小学生も 実態、指標 設定が必 要
		中高生 90.7%	中高生 100%	中高生 なし	E		
	アルコールの影響について伝えて いる保護者の割合の増加	小学生 なし	小学生 なし	小学生 44.0%	E	小学生 80%以上 中高生 80%以上	小学生も 設定。目標 は80%に 修正
中高生 48.7%		中高生 60%以上	中高生 なし	E			
未成年の飲酒率	小学生 今後 中高生 今後	小学生 0% 中高生 0%	なし (未把握)	E		部会意見 で削除(把 握方法が 困難)	

2) 親子期における重点目標

- ・子どもが健やかに発育・発達できる。
- ・保護者が安心して子育てできる。

3) 指標の達成状況

判定基準	指標数
A 既に目標値に達しているもしくは概ね達成し、更に改善を目指す	7
B 目標値に達していないが、策定時より改善	6
C 策定時から状況が変化していない	0
D 策定時より悪化している	4
E 策定時に指標設定なし、把握方法、対象者の変更等で評価困難	25